



共に学び、考えたこと・できるようになったことをまとめ、工夫して表現

学習発表会 12月5日(土)

今年度の学習発表会は、感染症対策を講じながらの開催となりました。参観者は、各家庭1人ずつ(6年生は2人ずつ)とし、立ち見はせずに、間隔をあけて設置した椅子に座っての参観としました。そのため、例年のようにフロアではなく、どの学年もステージでの発表となりました。更に、参観者だけでなく、発表者もマスクを随時着用としました。

1年生は、国語で学習した「くじらぐも」の朗読劇をしました。場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら、子どもたちなりの「お話の世界」に、参観者を招いてくれました。

2年生は、生活科の学習の「町探検」で学んだことを発表しました。そうわ会館・相和駐在所・J A相和支店など、それらがどのようなところであるのかを教えるもらった人になりきって、参観者へ伝えました。

3年生は、社会科や理科など、新しい学習が増えました。モンシロチョウの幼虫が食べるエサによって、からだの色が微妙に変わること、英語活動で身に付けたあいさつの仕方など、はじめて知ったことやできるようになったことを披露しました。

4年生は、高学年の仲間入りをして難しいことにもチャレンジし仲を深めてきました。その仲を裂こうとする「なかおサクンジャー」からの「挑戦」、それは「難しい問題」でした。しかし、見事になかまと協力しながらクリアしていきました。

5年生は、田んぼ育成会の方々との米作り体験や、「竹筒ご飯」の取り組みをしてきました。自分たちが体験した以外にも、米作りには、様々な手間があることを知り、その苦労を想像しながら、「お米」に対する思いを持ちました。その思いを見ている人に伝えました。

6年生は、「全国の神社や寺は、コンビニの数より多い」という事実から、人々の生活と密接な関係があるのだろうと予想し、「神社・寺の秘密」を追究してきました。そこで、分かったこと考えたことを劇で表現しました。未来の相和にタイムスリップして「大切なこと」を学んでいくストーリーに加え、表現豊かな演技に、見ている人は、お話の中に引き込まれてしまいました。

子どもたちにとっては、かなり難しい状況の中での発表となりましたが、緊張しながらも、学習発表会を行えること、他の学年やおうちの人たちに自分たちの発表を見てもらえることを楽しみ、みんな精一杯、発表していました。

保護者のみなさまには、感染症対策にご協力いただき、ありがとうございました。



くじらぐも(1年)



そうわたんけんたい(2年)



3年生、はじめての学習(3年)



国語、算数こんなことができるようになりました(4年)



お米とどけ隊(5年)



相和のかみさま・ほとけさま(6年)

ありがとうの気持ちを伝えよう ～今、自分たちでできることで～

ありがとう集会 12月15日(火)

この集会は、日頃お世話になっている学校支援ボランティアや地域の方々にありがとうの気持ちを伝える集会です。早朝にもかかわらず、12人の方々が出席してくださいました。

集会には、読み聞かせや大型紙芝居で子どもたちに読書の楽しさを伝えてくださっている「おはなしキャンドル」「ドリーム」の方々、子どもたちの登校等の安全を見守ってくださっている地域の方々や相和駐在所の方、野菜作りでご指導いただいた地域の方、米作りの体験をさせていただいた「田んぼ育成会」の方々、野外活動で「竹灯籠作り」等を教えていただいた「大井の里体験観光協会」の方、相和祭での全校ダンスにご協力いただいた笑顔特派員のスベリーマージャーキュリーさんと、様々なかたちで学校教育活動にご尽力いただいた方々を招待しました。

そして、子どもたちは、各団体・個人にむけて、各学年ごとに「お礼のことば」を述べ、相和祭で全校で取り組んだダンスや4・5年生の合奏を披露することで、感謝の気持ちを表現し伝えました。

ご出席いただいた方々には、子どもたちの生き生きとした表現を笑顔で参観していただき、喜んでもらうことができました。



感染症を予防しよう ～正しい手洗い～

学校保健委員会 12月5日(土)

学習発表会を行った日の午後、学校保健委員会を行いました。今年度は、感染症対策としての「こまめな手洗い」について、全校児童と保護者とであらためて正しい手洗いについて考えました。

まず、養護教諭から「ほとんどの人が正しい順番で手洗いをしている。しかし、洗う時間が短いと洗い残しがある。どのような箇所に洗い残しがあるのだろう。」と参加者に問いかけ、それを調べることを提案しました。

次に、大井町子育て健康課の保健師 小野 和美さんから「病気からみんなを守ろう」という演題でお話がありました。新型コロナウイルスの感染の仕方やそれを予防するための正しい手洗いについて教えていただきました。そして、手洗い後に特別な液体をつけてからブラックライトに照らすと、洗い残しのあるところが白く反応して見えることを、教職員をモデルにして実験をしてくれました。

終了後数日間、このブラックライトをお借りすることができました。子どもたち一人一人が、手洗い後に手をライトに照らし、自分の手洗いの仕方を見直すことができました。

